



沿道の声援受けて！ 八雲高校「遊楽部祭」 熊石高校「熊高祭」

八雲高校では、7月12日・13日の2日間「第66回遊楽部祭」が開催され、12日の仮装行列では、アニメ「ドラゴンボール」やゲームキャラクター「マリオ」、「お姫さま」の衣装など、各学年カラフルな衣装を身にまとい、本町通を練り歩きました。その後、シルバープラザで各クラスの演技披露が行われ、13日には模擬店等の催しが行われました。

熊石高校では、7月13日に「第56回熊高祭」が開催され、午前中からPTAによるバザーや、全校生徒9名によるダンスや吹奏楽等のステージ発表、抽選会といった催しが行われ、午後5時から人気キャラクターの「くまモン」と「ふなっしー」の行灯が披露され、熊石漁港ふれあい広場までの往復コースを練り歩きました。

八雲・熊石両高校ともに、沿道に集まった多くの方々を楽しませてくれました。



八雲高校



熊石高校

まちの活性化と人材育成に期待！ 札幌大谷大学と連携協定締結

6月24日、はぴあ八雲にて、町と札幌大谷大学（巖城孝憲学長）が連携協定調印式を行いました。

調印式では、札幌大谷大学芸術学部の学生による、音楽演奏会や、美術作品展示、巖城学長らによる講演会も行われ、音楽演奏会では、八雲町出身で札幌大谷大学1年村井花菜子さん、里菜子さん姉妹を含む学生5人が、八雲町に縁のある「花の首飾り」などを演奏しました。

今回の協定締結により、今年度から熊石地域活性化プロジェクトに取り組むとともに、まちの活性化と、時代を担う人材の育成など幅広く連携していきます。



看護の現場を体験！ 1日看護体験

7月8日、八雲総合病院で八雲・熊石・長万部・森・檜山北高校の生徒、計19名が、看護現場を体験しました。

生徒たちは、担当看護師から説明を受けた後、患者さんの手浴や足浴など、身の回りのお手伝いを行いました。

生徒からは「看護師さんが、話すことが困難な患者さんの気持ちを理解して行動していて感激した。看護師としてのやり甲斐や求められる事がわかり、看護師になりたいとの気持ちが強くなった」と感想が聞かれました。